

事業所名

とりはた玄海園 ここColor

支援プログラム

作成日

令和6年

11月

1日

法人理念	SMILE-笑顔に向かって- 私たちは利用者自身が心から満足していただき、笑顔を見せたときに、最も幸せを感じ、私たちの笑顔にもつながります。施設内に笑顔があふれるよう、ご満足いただけるサービスの提供をめざします。		
支援方針	ASD（自閉症）支援に有効な構造化の環境を取り入れて支援しています。以下5つことを支援の柱としています。 ①一人ひとりを受け止める（肯定的に反応） ②アセスメントに基づき、障害特性に応じて支援する ③一人ひとりに応じた自立を支援する ④個別化で対応する ⑤職員の専門性の向上を図る（実証された方法で支援する）		
営業時間	平日：9：15 ～ 19：00 学校休業日：8：00 ～ 17：00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・アセスメントに基づき、個別化で対応しながら身辺自立を促す。成功体験を積み重ねることで自信や意欲につなげる ・日頃からカームダウンエリアで過ごす時間を設定し、リラクセーションの習慣化を図ることで、感情やストレスが高まった時は「落ち着く」方法を自身で見つけられるよう支援する	
	運動・感覚	・一人ひとりの興味関心やスキルに応じて、微細運動、粗大運動を促す ・感覚に過敏性を伴ったり、特定の感覚を強く求めたりする障害特性を理解して、配慮しながら適切に対応する	
	認知・行動	・スケジュール・ルール・課題遂行の手順等は視覚的に提示し、見通しを持って主体的に取り組めるよう支援する ・アセスメントに基づいて、「芽生え」ている理解やスキルを活用して自立課題を作製する ・「セッション」で練習を積み、習得につなげながらスキルアップを図る	
	言語 コミュニケーション	・「要求」や「拒否」などの気持ちを表出できるよう一人ひとりに応じた『代替コミュニケーションカード』等のツールを作製する ・ツールの使い方は計画的に練習を積み、気持ちを適切に表出するコミュニケーション能力の向上を図る	
	人間関係 社会性	・成功体験を積み重ね「望ましい行動」を増やすことで、社会性を身に付けられるよう支援する ・課題行動（自傷・他傷・注意獲得行動等）については、原因（何につまづいているか）を分析しながら、実証された支援で対応方法を検討し支援する	
家族支援	・保護者を含めての支援会議では、障害特性を踏まえながら活動の様子や支援方法を伝え、障害理解について働きかける ・有効なツール（手順書やコミュニケーションカード）は家族と共有を図る	移行支援	学年が上がる、学部が上がる、卒業して社会に出るなどライフステージを踏まえ、個別支援計画書の目標（短期・長期）を設定する。ニーズに応じて就労体験や移動支援等実施する。
地域支援・地域連携	・公共施設や店舗などの社会資源を積極的に活用して、地域で暮らすことの実現につなげる	職員の質の向上	「自閉症支援」の専門性（知識・技術）の向上を図るため、毎月外部講師によるアドバイザー研修（コンサル）を全職員で受講。支援方法や環境の見直し等適宜実施している。
主な行事等	・外出活動 ・クッキング（中高生以上） ・プール活動（夏季）		